

## 研究会報告

### 非平衡系統計力学の基礎研究懇話会

— 第2回久保セミナー —

(1989年5月29日受理)

1988年2月27日(土) 10:00~17:00

於 慶大理工・物理教室

世話人 柴田文明, 北原和夫, 一柳正和, 有光敏彦

#### プログラム

あいさつ	柴田文明(お茶大)
KMO-ランジュヴァン方程式と Einstein の関係式について	岡部靖憲(北大)
相転移の統一理論 — 超有効場理論とコヒーレント異常法 —	鈴木増雄(東大)
パルス光励起による過渡的光学過程の理論	相原正樹(山口大)
1/f「ゆらぎ」について	武者利光(東工大)
むすび	久保亮五(慶応大)

統計力学の基礎的な諸問題に関心を持ち、長年研究をしている方々に話を提供していただきそれを通して久保先生からコメントをいただくという主旨で始めた久保セミナーの2回目を、上記のプログラムに従って行いました。第1回目同様多数の方の参加をいただき、有意義なセミナーとなりました。

最近では、物性はもとより、素粒子、原子核から宇宙論、数学的な基礎付けの問題も含んだ広い分野で、有限温度や非平衡状態の問題が盛んに議論されるようになっていきます。熱統計力学の問題は、歴史も長くまた難しいものが多いのですが、各分野での新しい観点からの考察はこれらの問題に何がしかの解決の糸口を与えるのではないかと期待されます。

統計力学の基礎的な問題という共通項を持った広い分野の方々も交えて、久保セミナーを続けたいと考えております。関心のお有りの方は、世話人までご一報ください。

なお、久保先生はむすびとして、Statistical Physics II -- Nonequilibrium Statistical

研究会報告

Mechanics --, R. Kubo, M. Toda and N. Hashitsume (Springer 1985) より, 線形応答理論に関する含蓄のあるお話をされました。 (有光敏彦)